

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
原始	-7000(縄文時代)			
	-400(縄文時代)			
古墳・飛鳥時代	前1世紀(弥生時代)	・近畿まで稲作が北進する		
	3世紀(弥生時代)	・稲作の北進 本州北端(青森)まで		
	239(3世紀)	・邪馬台国卑弥呼[親魏倭王]の称号受ける		
	300(4世紀頃)			
	500(6世紀当初)			
	645(大化元年)	・大化の改新		
	646(大化2年)	・班田収授の法を制定 ・公地公民制を宣言 ・租・庸・調を定める		
	682(天武11年)		・大隅・阿多隼人が朝貢をはじめ	
	694(持統8年)	・藤原京に遷都		
	701(大宝元年)	・大宝律令		
	702(大宝2年)			
奈良時代	710(和銅3年)	・平城京に遷都		
	713		・日向国から贈於・大隅など4郡を割いて、大隅国をおく	
	722(養老6年)	・墾田100万町歩の開墾を計画する		
	723(養老7年)	・墾田の開発をすすめ、用益の年限をきめる(三世一身法)		
	741(天平13年)			
	743(天平15年)	・墾田を私財とする事を許す(墾田永世私有令)		
	746(天平18年)			
	757(天平宝字元年)			
	765(天平神護元年)	・寺院以外の墾田開発を禁止		
	784(延暦3年)	・長岡京に遷都		
	794(延暦13年)	・平安京に遷都		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
平安時代	821(弘仁12年)	・空海、満濃池を作る		
	874(貞観16年)		・3.04 開聞岳噴火、橋牟礼川遺跡など被災	
	885(仁和元年)		・7・8- 開聞岳噴火	
	902(延喜2年)	・延喜の荘園整理令		
	927(延長5年)	・『延喜式』完成		
	平安時代	・平安中期の耕地面積862,767町		・薩摩国:耕地4,800町、大隅国:耕地4,800町、耕地計9,600町
	1017(寛仁元年)	・藤原道長が太政大臣となる		
	1045(寛徳2年)	・寛徳の荘園整理令		
	1055(天喜3年)			
	1062(康平5年)	・前九年の役平定(安部氏亡ぶ)		
	1069(延久元年)	・延久の荘園整理令		
	1086(応徳3年)	・白河上皇、院政を始める		
	1087(寛治元年)	・後三年の役平定		
	1156(保元元年)	・保元の乱		
1159(平治元年)	・平治の乱			
1167(仁安2年)	・平清盛、太政大臣となる			
1174(承安4年)				
鎌倉時代	1183(寿永2年)			
	1185(文治元年)	・守護、地頭を設置		
	1192(建久3年)	・源頼朝、征夷大將軍となる		
	1197(建久8年)		・薩摩・大隅両国衙、建久図田帳を注進	・清見中谷開(揖宿郡)*5
	1221(承久3年)	・承久の乱		
	1232(貞永元年)	・北条泰時、関東御成敗式目(貞永式目)制定		
	1274(文永11年)	・文永の役[蒙古襲来]		
	1281(弘安4年)	・弘安の役[蒙古襲来]		
	1297(永仁5年)	・永仁の徳政令発布		
	1333(元弘3年)	・鎌倉幕府滅亡		
	1334(建武元年)	・建武の中興		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
室町時代	1336(建武3年)	・後醍醐天皇、吉野に移る(南北朝分裂)		
	1338(延元3年)	・足利尊氏、征夷大将軍となる		
	1368(応安元年)	・足利義満、征夷大将軍となる		
	1392(明德3年)	・南北朝の合一		
	1404(応永11年)		・島津元久、大隅・日向両国守護職を安堵	
	1428(正長元年)	・正長の土一揆		
	1467(応仁元年)	・応仁の乱起こる		
	1488(長享2年)	・加賀一向一揆		
	室町時代	・室町期の耕地面積854,791町		・薩摩国:耕地14,620町、大隅国:耕地5,814町、耕地計20,434町
	1506(永正3年)			
1543(天文12年)	・種子島に鉄砲伝来			
1549		・フランシスコ・ザビエル、鹿児島に上陸しキリスト教を伝える		
1558			・永禄年間:万世町用水(川辺郡、灌漑面積150町)*5	
1573(天正元年)	・室町幕府滅びる			
安土・桃山時代	1578(天正6年)		・耳川合戦、島津氏、大友氏を撃破する	
	1581(天正9年)			
	1582(天正10年)	・本能寺の変 ・太閤検地始まる(~'98)		
	1585(天正13年)	・豊臣秀吉、関白となる		
	1587(天正14年)		・豊臣秀吉、九州遠征 ・島津氏、秀吉に無条件降伏	
	1588(天正16年)	・刀狩、封建的身分制、兵農分離		・大口山野開田(伊佐郡、100町)*5
	1590(天正18年)			
	1592(文禄元年)			・文禄年間頃:鏡嶋御新田(川辺郡、30町)*5
	1596(慶長元年)			
	1597(慶長2年)			
	1598(慶長3年)			
1599(慶長4年)				

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
	1600 (慶長5年)	・関ヶ原の戦い	・関ヶ原の戦い ・島津義弘、井伊直政・松平忠吉とたたかう	・木の氏開田(伊佐郡、50町)*5
	1601 (慶長6年)			
	1602 (慶長7年)		・徳川家康、島津忠恒に薩摩・大隅・日向所領を安堵する	
	1603 (慶長8年)	・徳川家康、征夷大將軍に任命され、江戸幕府を開く		
	1604 (慶長9年)			
	1605 (慶長10年)			
	1606 (慶長11年)			
	1607 (慶長12年)			
	1608 (慶長13年)			
	1609 (慶長14年)			
	1610 (慶長15年)			
	1611 (慶長16年)			
	1612 (慶長17年)			
	1613 (慶長18年)		・この年、大島奉行をおき、道の島全体を管轄させる	
	1614 (慶長19年)	・大阪冬の陣		
	1615 (元和元年)	・大阪夏の陣 ・武家諸法度、禁中並公家諸法度を定める		
	1616 (元和2年)			
	1617 (元和3年)			
	1618 (元和4年)			
	1619 (元和5年)			
	1620 (元和6年)			
	1621 (元和7年)			
	1622 (元和8年)			
	1623 (元和9年)			
	1624 (寛永元年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
	1625 (寛永2年)			
	1626 (寛永3年)			
	1627 (寛永4年)			
	1628 (寛永5年)			
	1629 (寛永6年)			
	1630 (寛永7年)			
	1631 (寛永8年)			
	1632 (寛永9年)			
	1633 (寛永10年)			
	1634 (寛永11年)			・林田新田(肝属郡、灌漑面積640町)*5
	1635 (寛永12年)			
	1636 (寛永13年)			
	1637 (寛永14年)			
	1638 (寛永15年)			
	1639 (寛永16年)	・鎖国令		
	1640 (寛永17年)			
	1641 (寛永18年)			
	1642 (寛永19年)			
	1643 (寛永20年)	・田畑永代売買禁止令		
	1644 (正保元年)			・蒲生村水路(始良郡、灌漑面積59町)*5
	1645 (正保2年)			
	1646 (正保3年)			
	1647 (正保4年)			
	1648 (慶安元年)			
	1649 (慶安2年)	・地方五役5人組制度		
	1650 (慶安3年)			
	江戸時代前期			・鹿児島藩73万石
	1651 (慶安4年)			・川床堰(吉田殿堰)(川辺郡)、高田村新溝(川辺郡)*5
	1652 (承応元年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
	1653(承応2年)	・幕府、玉川上水開削を許し、費用を与える		
	1654(承応3年)			
	1655(明暦元年)			・明暦・万治年間:鳥浜井堰(肝属郡、灌漑面積40町)*5
	1656(明暦2年)			
	1657(明暦3年)			
	1658(万治元年)			
	1659(万治2年)			
	1660(万治3年)			
	1661(寛文元年)			・今田村新溝(川辺郡)*5 ・寛文年間:松永用水(始良郡、143町)*5 ・新留、野崎用水(肝属郡、100町)*5
	1662(寛文2年)			・湯之尾堰(伊佐郡)*5
	1663(寛文3年)			・御新田貫溝(川辺郡)*5 ・瀬貫水路(始良郡、灌漑面積270町)*5
	1664(寛文4年)			・触田堰(始良郡、灌漑面積330町)*5 ・東串良開田(肝属郡)*5
	1665(寛文5年)			
	1666(寛文6年)	・山川掟の発令		・下溜池(薩摩郡)*5
	1667(寛文7年)			
	1668(寛文8年)			
	1669(寛文9年)			
	1670(寛文10年)			・有里用水(肝属郡、250町)*5
	1671(寛文11年)			
	1672(寛文12年)			
	1673(延宝元年)			
	1674(延宝2年)	・分地制限法		
	1675(延宝3年)			
	1676(延宝4年)			・馬場城元用水(肝属郡、灌漑面積250町)*5
	1677(延宝5年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
	1678 (延宝6年)			
	1679 (延宝7年)			
	1680 (延宝8年)			
	1681 (天和元年)			・天和・貞享・元禄年間:古里新田(出水郡、40町)*5
	1682 (天和2年)			
	1683 (天和3年)			
	1684 (貞享元年)	・河村瑞賢、淀川下流の治水事業に着手(~'85)		・高田村新溝(川辺郡)*5
	1685 (貞享2年)			
	1686 (貞享3年)			
	1687 (貞享4年)	・田畑永代売買禁止を再令する		・高江新田(薩摩郡)*5
	1688 (元禄元年)			・田部田村新溝・宮村新溜池(川辺郡)*5 ・元禄年間:美坂堤(伊佐郡、45町)*5 ・清水新田(川辺郡、20町)*5 ・笠石御新田(川辺郡、25町)*5 ・榊尻御新田(川辺郡、17町)*5 ・平八重新田(川辺郡)*5 ・鯉ヶ浦御新田・反籠石新田(川辺郡)*5 ・鬼ヶ宇都溜池(日置郡、灌漑面積80町)*5 ・釜蓋溜池(日置郡、灌漑面積80町)*5 ・下太郎浦溜池(日置郡、灌漑面積30町)*5 ・岩戸堰(曾於郡、灌漑面積100町)*5 ・吉松用水路(始良郡、灌漑面積二百数十町)*5
	1689 (元禄2年)			
	1690 (元禄3年)			
	1691 (元禄4年)			・宮塘池(川辺郡、灌漑面積24町)*5 ・野崎村新溝(川辺郡)*5 ・清水村木場新溝(川辺郡)*5
	1692 (元禄5年)			
	1693 (元禄6年)			・上出井堰(揖宿郡)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
	1694(元禄7年)			・向江町(鹿児島市)*5 ・佃井堰(揖宿郡、100町)*5
	1695(元禄8年)			
	1696(元禄9年)	・宮崎安貞「農業全書」刊		
	1697(元禄10年)			
	1698(元禄11元年)			
	1699(元禄12年)			・上溜池(薩摩郡、灌漑面積100町)*5
	1700(元禄13年)			・霧野潟(江内新田)(出水郡、200町)*5
	1701(元禄14年)			・川原用水(肝属郡、60町)*5
	1702(元禄15年)			・荒佐野原(曾於郡)*5
	1703(元禄16年)			・新田溝(元林井手)(薩摩郡)*5 ・一ツ木用水(薩摩郡、灌漑面積40町)*5 ・今釜新田(出水郡、33町)*5
	1704(宝永元年)	・大和川の付替工事開始		田中井堰(伊佐郡、150町)*5
	1705(宝永2年)	・大和川旧河道新田開発	・前田利右衛門、琉球より甘藷をもたらし、郷里に試植	
	1706(宝永3年)			小城新田(始良郡、灌漑面積300町)*5
	1707(宝永4年)	・富士山噴火、宝永山できる		
	1708(宝永5年)	・貝原益軒『大和本草』		
	1709(宝永6年)	・新井白石を登用する		
	1710(宝永7年)			
	1711(正徳元年)			正徳年間: 浜田原(大島郡、200町)*5
	1712(正徳2年)			
	1713(正徳3年)			浦戸締(大島郡、130余町)*5
	1714(正徳4年)			
	1715(正徳5年)			
	1716(享保元年)	・徳川吉宗、第8代将軍となる	・9.- 霧島山爆発、12月また噴出し降灰、近傍の田畑埋没	・宮内原開墾(始良郡、400町)*5 ・国分町用水路(始良郡、灌漑面積436町)*5 ・享保年間: 毘沙門枯木野(薩摩郡、15町)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
江戸時代	1717 (享保2年)		・1.- さらに霧島山噴出	・花岡用水(肝属郡)*5
	1718 (享保3年)			・新階麓堰(日置郡、灌漑面積50町)*5
	1719 (享保4年)			
	1720 (享保5年)			・福元開墾(大島郡)*5
	1721 (享保6年)	・目安箱の設置		
	1722 (享保7年)	・新田開発の奨励		
	1723 (享保8年)			
	1724 (享保9年)			
	1725 (享保10年)			
	1726 (享保11年)	・新田検地条目の制定		
	1727 (享保12年)			・新田川(川辺郡、灌漑面積190町)*5 ・新田原(川辺郡、80町)*5 ・阿多新田・新田川堰(日置郡、灌漑面積200余町)*5
	1728 (享保13年)			
	1729 (享保14年)			・芸の尾溜池(薩摩郡)*5
	1730 (享保15年)			
	1731 (享保16年)			
	1732 (享保17年)	・山陽・南海・西海・畿内蝗害のため大飢饉		
	1733 (享保18年)			
	1734 (享保19年)			・五万石溝(出水郡、灌漑面積200町)*5
	1735 (享保20年)	・幕府、米価下落を防ぐため最低価格を決める		
	1736 (元文元年)			
1737 (元文2年)				
1738 (元文3年)				
1739 (元文4年)				
1740 (元文5年)				
1741 (寛保元年)			・井河溝新田(肝属郡、200町)*5	
1742 (寛保2年)				
1743 (寛保3年)				

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
	1744(延享元年)			・延享年間:前田用水(肝属郡、100町)*5
	1745(延享2年)			
	1746(延享3年)			
	1747(延享4年)			
	1748(寛延元年)			
	1749(寛延2年)	・定免制を全面的に施行		
	1750(寛延3年)			
	江戸時代中頃	・江戸中期の耕地面積:田1,695,923町、畑1,417,074町、計3,013,546町		・薩摩国:田16,682町、畑15,743町、計32,425町 ・大隅国:田10,710町、畑13,596町、計24,306町 ・田計27,392町、畑計29,339町、合計56,731町
	1751(宝暦元年)			・宝暦年間:神殿新溜池(川辺郡)*5 ・霧島堰(鹿児島郡)*5
	1752(宝暦2年)			
	1753(宝暦3年)			・入野溜池(鹿児島郡) ・小牧新田(肝属郡、15町)*5
	1754(宝暦4年)		・木曾川治水工事着手	
	1755(宝暦5年)	・木曾川の治水工事完成	・木曾川治水工事竣工 ・治水工事総奉行平田鞞負正輔自刃	
	1756(宝暦6年)			
	1757(宝暦7年)			
	1758(宝暦8年)			・蘆牟田城溜池(薩摩郡、灌漑面積10町)*5 ・供養山中尾下五敷鍙(薩摩郡、20町)*5
	1759(宝暦9年)			・上谷池(出水郡)*5
	1760(宝暦10年)			
	1761(宝暦11年)			
	1762(宝暦12年)			
	1763(宝暦13年)			
	1764(明和元年)			・明和年間:藤次原溜池(薩摩郡、灌漑面積20町)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
				・鍔池(肝属郡)*5
	1765(明和2年)			
	1766(明和3年)			
	1767(明和4年)			・小浜開墾(始良郡)*5
	1768(明和5年)			・加世田用水溝(川辺郡、300町)*5
	1769(明和6年)			・内霧島の田御新田(川辺郡)*5
	1770(明和7年)			
	1771(明和8年)			・時吉水路(薩摩郡、灌漑面積60町)*5
	1772(安永元年)	・田沼意次、老中となる		・易居町(鹿児島市)、山下堰(川辺郡、灌漑面積2000余町)*5
	1773(安永2年)			・麓用水(肝属郡、50町)*5 ・下小原池(肝属郡、灌漑面積50町)*5
	1774(安永3年)			
	1775(安永4年)			
	1776(安永5年)			
	1777(安永6年)			
	1778(安永7年)			
	1779(安永8年)		・10- 桜島噴火・死者150人余り	
	1780(安永9年)			
	1781(天明元年)			・天明年間: 東手在郷田圃用水(薩摩郡、20町)*5
	1782(天明2年)	・下総印旛沼干拓に着手 ・瀬戸内・九州など大凶荒		
	1783(天明3年)	・浅間山大噴火 ・冷害のため諸国大飢饉		・宍喰溜池(日置郡)*5
	1784(天明4年)	・この春夏諸国飢饉、農民流亡のため農村荒廃		
	1785(天明5年)	・奥羽飢饉		
	1786(天明6年)	・下総手賀沼開発に着手するも、間もなく中止 ・老中田沼意次失脚 ・諸国大凶作		・芝原井手(肝属郡、10町)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
	1787(天明7年)	・松平定信、老中就任 ・寛政の改革が始まる		
	1788(天明8年)			
	1789(寛政元年)	・困米の制を定める		
	1790(寛政2年)			
	1791(寛政3年)			
	1792(寛政4年)			
	1793(寛政5年)			
	1794(寛政6年)			
	1795(寛政7年)			・住吉新田(始良郡)*5
	1796(寛政8年)			
	1797(寛政9年)			
	1798(寛政10年)			
	1799(寛政11年)			
	1800(寛政12年)	・伊能忠敬、蝦夷地を測量する		
	1801(享和元年)			
	1802(享和2年)			
	1803(享和3年)			
	1804(文化元年)			・永井田川用水(鹿児島郡、灌漑面積30町)*5 ・文化年間:津貫石堂原(川辺郡)、波留新田(出水郡、20数町)*5 ・文化・文政年間:八木殿溝(出水郡)*5
	1805(文化2年)			
	1806(文化3年)			・新川筋開鑿(鹿児島郡)*5
	1807(文化4年)			・下中島溜池(薩摩郡)*5
	1808(文化5年)			
	1809(文化6年)			
	1810(文化7年)			
	1811(文化8年)			
	1812(文化9年)			・板ヶ谷池(肝属郡)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
	1813(文化10年)			・石井手(鹿児島郡)*5
	1814(文化11年)			
	1815(文化12年)			
	1816(文化13年)			・宇都池(日置郡、灌漑面積45町)*5
	1817(文化14年)	『農具便利論』		
	1818(文政元年)			・文政年間:小浜新田(川辺郡)*5
	1819(文政2年)			・引地池(出水郡)*5
	1820(文政3年)			
	1821(文政4年)	・伊能忠敬、『大日本沿海実測地図』完成		・江内塩田(出水郡、10町)*5
	1822(文政5年)			
	1823(文政6年)			
	1824(文政7年)			
	1825(文政8年)			
	1826(文政9年)			
	1827(文政10年)		・この年、藩債500万両におよび、側用人調所 広郷に財政改革を命じる	
	1828(文政11年)			
	1829(文政12年)			
	1830(天保元年)		・この年、大島・喜界島・徳之島の3島砂糖の 惣買入法に着手	・天保年間:舞敷野井堰・川畑井手堰・内山田脇井手堰(川辺郡)、下 手新土手(伊佐郡、30町)、目丸排水(伊佐郡)*5
	1831(天保2年)	・諸国石高を調査する		
	1832(天保3年)			
	1833(天保4年)	・この冬、風水害により奥羽・関東飢饉		
	1834(天保5年)	・諸国飢饉		・天保5、6年:二月田排水(鹿児島郡)*5
	1835(天保6年)			
	1836(天保7年)	・諸国飢饉、奥羽地方最も甚だしく死者10万 人に及ぶ		・祇園洲(鹿児島市)*5
	1837(天保8年)	・大塩平八郎の乱 ・この春、諸国飢饉、餓死多数		
	1838(天保9年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
	1839(天保10年)	・この年、奥羽飢饉、死者・流民多数		
	1840(天保11年)			
	1841(天保12年)	・天保改革はじまる		・天保山(鹿児島市)、黒川新田(東の新田)(始良郡、20数町)*5
	1842(天保13年)			
	1843(天保14年)	・印旛沼開墾開始		・長里堰・横手井手又は浦田井手(日置郡、灌漑面積38町)*5
	1844(弘化元年)	・印旛沼開墾中止		・古浜築堤(出水郡、30町)*5 ・弘化年間:前川原(大島郡)*5
	1845(弘化2年)			
	1846(弘化3年)			
	1847(弘化4年)	・信州大地震(善光寺地震)		
	1848(嘉永元年)			・万福池(日置郡、灌漑面積43町)*5 ・嘉永以降:小川町(鹿児島市)*5
	1849(嘉永2年)			・高江一ノ口井手(薩摩郡、300町)*5 ・徳辺井堰(伊佐郡、60町)*5
	1850(嘉永3年)			・薬師溜池(伊佐郡、灌漑面積30町)*5 ・重溜溜池(伊佐郡、灌漑面積20町)*5 ・小村新田(始良郡、120町)*5 ・野崎池改修(肝属郡、100町)*5
	1851(嘉永4年)			
	1852(嘉永5年)			
	1853(嘉永6年)	・ペリ―浦賀来航		
	1854(安政元年)	・日米和親条約		・安政・万延年間:茶筌松開発(鹿児島郡)*5
	1855(安政2年)	・江戸大地震(安政の大地震)		・住吉池改修(始良郡、灌漑面積200町)*5
	1856(安政3年)			・二俣川堰(日置郡、灌漑面積53町)*5 ・小島溜池(出水郡、灌漑面積50町)*5
	1857(安政4年)			・中郡宇村塩田(鹿児島郡)*5
	1858(安政5年)	・日米修好通商条約		・堀井戸(鹿児島郡)*5
	1859(安政6年)			・下笠池(出水郡)*5
	1860(万延元年)	・桜田門外の変		・河湾田堰(川辺郡、26町)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
	1861(文久元年)			
	1862(文久2年)			
	1863(文久3年)		・薩英戦争おこる	
	1864(元治元年)	・禁門の変、第1次長州征伐		・荒崎新地(出水郡、200町)*5 ・呑之浦埋立(大島郡)*5
	1865(慶応元年)			
	1866(慶応2年)	・薩長同盟、第2次長州征伐	・薩長同盟成立	・冷筋池(出水郡)*5 ・大久保井手(曾於郡)*5
	1867(慶応3年)	・大政奉還、王政復古宣言		・田原早谷溜池(薩摩郡、灌漑面積40町)*5
	1868(慶応4年)	・鳥羽・伏見の戦い(戊辰戦争起こる)		
	1868(明治元年)	・明治維新	・鳥羽伏見の戦い ・官軍江戸城を接收 ・奥羽平定	
	1869(明治2年)	・東京遷都 ・版籍奉還 ・開拓使設置	・薩長土肥4藩主、版籍奉還を奏上	
	1870(明治3年)	・勸農局(翌年、開墾局に改称)を設ける		
	1871(明治4年)	・戸籍法を定める ・廃藩置県 ・田畑勝手作許可	・鹿児島・宮崎・美々津三県をおく	
	1872(明治5年)	・田畑売買禁止の解除	・天皇、鹿児島行幸	
	1873(明治6年)	・徴兵令・地租改正条例を公布 ・内務省設置		
	1874(明治7年)	・北海道屯田兵制度を設ける		
	1875(明治8年)			
	1876(明治9年)		・宮崎県を廃し、鹿児島県と合併	
	1877(明治10年)	・地租軽減(地価の3%から2.5%に) ・西南戦争	・西南戦争はじまる ・城山陥落、西郷ら自刃	
	1878(明治11年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
明治時代	1879 (明治12年)	・国営安積疏水猪苗代湖開墾事業に着工(～'82)		
	1880 (明治13年)	・区町村会法制定施行	・帖佐塩田竣工	
	1881 (明治14年)	・農商務省設置 ・大日本農会創立		
	1882 (明治15年)	・日本銀行開業		
	1883 (明治16年)			
	1884 (明治17年)			
	1885 (明治18年)	・太政官制を廃止(内閣制度を樹立)		
	1886 (明治19年)			
	1887 (明治20年)	・石川県石川郡上安原村で石川式区画整理を開始		
	1888 (明治21年)	・市制及び町村制を公布		
	1889 (明治22年)	・大日本帝国憲法発布 ・東海道本線全通		
	1890 (明治23年)	・水利組合条例・公有水面埋立法公布		
	1891 (明治24年)	・濃尾大地震		
	1892 (明治25年)			
		・耕地面積、田2,805,212ha、畑2,307,956ha、計5,113,168ha		・田59,809ha、畑163,337ha、計223,146ha
	1893 (明治26年)			
	1894 (明治27年)	・日清戦争(～'95)		
	1895 (明治28年)			
	1896 (明治29年)	・河川法制定		
	1897 (明治30年)	・砂防法・森林法を公布		
1898 (明治31年)				
1899 (明治32年)	・耕地整理法公布	・県下に大暴風、全壊家屋1万6000余戸		
1900 (明治33年)				
1901 (明治34年)		・第七高等学校設立		
1902 (明治35年)	・日英同盟成立 ・北海道土巧組合法公布			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
大正時代	1903 (明治36年)			
	1904 (明治37年)	・日露戦争(～'05)		
	1905 (明治38年)	・耕地整理法改正(灌漑排水の追加)		
	1906 (明治39年)			
	1907 (明治40年)	・耕地整理研究会(後の農業土木学会)発足		
	1908 (明治41年)		・鹿児島高等農林学校設立	
	1909 (明治42年)	・耕地整理法改正(開墾・地目変換を認め、耕地整理組合を法人化)	・八代・鹿児島間鉄道開通	
	1910 (明治43年)	・韓国併合		
	1911 (明治44年)			
大正時代	1912 (大正元年)			
	1913 (大正2年)	・北海道大冷害		
	1914 (大正3年)	・第一次世界大戦勃発 ・耕地整理法改正(目的に埋立・干拓を追加)	・1.- 桜島大爆発	
	1915 (大正4年)			
	1916 (大正5年)			
	1917 (大正6年)	・米価高騰		
	1918 (大正7年)	・富山県下で米騒動、以後1道3府32県に波及		・大崎開田用水路着工(曾於郡)*2
	1919 (大正8年)	・都市計画法公布		
	1920 (大正9年)	・第1回国勢調査実施(総人口7698万人、内地5596万人)		
	1921 (大正10年)	・米穀法公布		
	1922 (大正11年)			
	1923 (大正12年)	・関東大震災		
	1924 (大正13年)			
	1925 (大正14年)	・普通選挙法(男子)公布		
	1926 (大正15年)	・自作農創設維持補助規則制定公布		
昭和時代	1926 (昭和元年)			
	1927 (昭和2年)	・金融恐慌起こり、休業銀行続出		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
		・丹後地震		
	1928(昭和3年)	・普通選挙による最初の衆議院議員総選挙		
	1929(昭和4年)	・世界的経済大恐慌 ・農業土木学会(後の農業農村工学会)創立		
	1930(昭和5年)	・昭和恐慌 ・農業恐慌、農村の危機深刻化する	・米之津干拓工事・小村新田開拓工事竣工	
	1931(昭和6年)	・満州事変起こる ・北海道、東北に冷害、未曾有の大凶作	・谷山和田干拓地・二川開墾地工事竣工	
	1932(昭和7年)	・第1次上海事変 ・5.15事件 ・時局匡救耕地関係農業土木事業発足		
	1933(昭和8年)	・国際連盟脱退 ・米穀統制法公布 ・三陸地震大津波		
	1934(昭和9年)	・満州国帝政実施(皇帝溥儀) ・室戸台風		
	1935(昭和10年)			
	1936(昭和11年)	・2.26事件	・西鹿児島・山川間全通	・野田用水改良事業着工(～'47)
	1937(昭和12年)	・廬溝橋事件(日中戦争開始)		・山野用水改良事業着工(～'43)
	1938(昭和13年)	・国家総動員法公布 ・農地調整法公布		
	1939(昭和14年)	・第2次世界大戦はじまる		
	1940(昭和15年)	・米穀管理規則により統制		
	1941(昭和16年)	・農地開発法公布、農地開発営団設立 ・太平洋戦争開始		・高山用水改良事業着工(～'49)
	1942(昭和17年)	・食糧管理法公布(供出配給強化)	・大浦干拓工事第1工区着工(～'62)	・宮内原用水改良事業着工(～'50)
	1943(昭和18年)			・大浦湾干拓*2
	1944(昭和19年)			
	1945(昭和20年)	・広島、長崎に原爆投下	・枕崎台風襲来、死者不明129人、全半壊2万9351戸	・萬世開墾建設事業着工(～'47)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
	1946(昭和21年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポツダム宣言受諾、終戦 ・緊急開拓事業実施要領制定 ・農地改革 ・自作農創設特別措置法制定 ・農地調整法改正 ・地方農地事務局設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・阿久根台風来襲 ・GHQ、北緯30度以南の南西諸島を日本の行政から分離 ・4.03 桜島の噴出溶岩で黒神集落の8割埋没 	<ul style="list-style-type: none"> ・笠野原・串良・青戸開墾建設事業着工(～'48) ・国営霧島農地開発事業着工(～'58)※ ・野間・吉野開墾建設事業着工 ・岩川・安城・隼人・谷山開墾建設事業着工(～'47) ・出水・吉見山開墾建設事業着工(～'48) ・内之牧・十文字原開墾建設事業着工(～'49) ・十三塚原開墾建設事業着工(～'51) ・宮之浦・屋久島開墾建設事業着工(～'52) ・竹屋敷開墾建設事業着工(～'53) ・山之神開墾建設事業着工(～'57) ・馬籠開墾建設事業着工(～'58) ・根木原・牧之原・大野原・弁財天開墾建設事業着工(～'61)
	1947(昭和22年)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法施行 ・農業協同組合法公布 		<ul style="list-style-type: none"> ・千間川・国分開墾建設事業着工 ・釜ヶ宇都・郷之原・知覧・熊ヶ谷・舟木・平原・奥嵐・菱田開墾建設事業着工(～'48) ・第2吉野・神殿開墾建設事業着工(～'49) ・安原開墾建設事業着工(～'51) ・熊ヶ倉開墾建設事業着工(～'53) ・重富開墾建設事業着工(～'55) ・栗野岳開墾建設事業着工(～'60) ・黒神・上場開墾建設事業着工(～'61) ・新川開墾建設事業着工(～'62)
	1948(昭和23年)	<ul style="list-style-type: none"> ・建設省設置 		<ul style="list-style-type: none"> ・五万石用水改良事業着工(～'54) ・瓶台・永山・吉ヶ谷・白石・住吉・深久保・道野・諏防山・緩毛原・瀬戸口原、天辰開墾建設事業着工 ・遠見丘・愛宕山・岳野開墾建設事業着工(～'50) ・銀湯・谷ヶ峰・蓮尺野・白木尾開墾建設事業着工(～'51) ・花岡・江内・久木野・増田・永之段・薩摩上場開墾建設事業着工(～'52) ・長谷野開墾建設事業着工(～'54)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
				<ul style="list-style-type: none"> ・安良岳・漆開墾建設事業着工(～'60) ・入重山開墾建設事業着工(～'61)
	1949(昭和24年)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良法公布 ・ドッジ勧告による均衡予算実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・デラ台風、薩摩半島に上陸、死者・不明者88人 	<ul style="list-style-type: none"> ・野里開墾建設事業着工(～'50) ・茅野開墾建設事業着工(～'51) ・大峰原・硫黄島開墾建設事業着工(～'52) ・鹿屋開墾建設事業着工(～'54) ・黒島開墾建設事業着工(～'62)
	1950(昭和25年)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮戦争勃発 ・国土総合開発法公布 		<ul style="list-style-type: none"> ・中山用水改良事業着工(～'54)、 ・飛野開墾建設事業着工 ・冠岳・竹島開墾建設事業着工(～'51) ・西之山開墾建設事業着工(～'52) ・冷水開墾建設事業着工(～'53)
	1951(昭和26年)	<ul style="list-style-type: none"> ・積雪寒冷地単作地帯振興臨時措置法公布 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルース台風県本土に上陸 	<ul style="list-style-type: none"> ・境川用水改良事業着工(～'60) ・折田用水改良事業着工(～'56) ・触田用水改良事業着工(～'55) ・中津原・立神開墾建設事業着工 ・蔵之元・高牧開墾建設事業着工(～'53) ・大中尾開墾建設事業着工(～'63) ・噲唵大野原開墾建設事業着工(～'64)
	1952(昭和27年)	<ul style="list-style-type: none"> ・農地法公布 	<ul style="list-style-type: none"> ・琉球政府、奄美地方庁を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・国分用水改良事業着工(～'57) ・蓑原用水改良事業着工(～'59) ・中尾山・大石野・衣の平・広ヶ野・第二中津原・別府・出水大久保開墾建設事業着工 ・一軒家拡張・湯向開墾建設事業着工(～'54) ・中山・馬毛島・南方開墾建設事業着工(～'55) ・第二舟木開墾建設事業着工(～'56) ・高峠・川床開墾建設事業着工(～'62) ・五女木・楠辺・寺山開墾建設事業着工(～'63)
	1953(昭和28年)	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州及び和歌山県に大水害 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国初の笠野原台地畑地灌漑事業実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・木田用水改良事業着工(～'59)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
昭和時代	1954(昭和29年)		・奄美諸島、日本復帰	・仮宿用水改良事業着工(～'62) ・茎永用水改良事業着工(～'59) ・下知識用水改良事業着工(～'64) ・砂中拡張・宇都川路開墾建設事業着工
	1955(昭和30年)	・愛知用水公団、農地開発機械公団設立		・高江用水改良事業着工
	1956(昭和31年)		・9.07 桜島南岳、大噴火	・両根占用水改良事業着工(～'66) ・鳴之尾開墾建設事業着工(～'59) ・口永良部開墾建設事業着工(～'62)
	1957(昭和32年)	・八郎潟干拓事業開始		・菱太良用水改良事業着工 ・奥ヶ平開墾建設事業着工(～'59)
	1958(昭和33年)			・国営笠野原農業水利事業着工(～'69)※
	1959(昭和34年)	・伊勢湾台風		・高農牧場開墾建設事業着工(～'61) ・牧場跡開墾建設事業着工(～'62)
	1960(昭和35年)	・所得倍増計画 ・食糧増産対策事業から農業基盤整備事業に名称変え		・北方用水改良事業着工(～'64)
	1961(昭和36年)	・農業基本法制定 ・水資源開発公団法公布(設立は'62)		・蓬原用水改良事業着工 ・霧島開墾建設事業着工(～'62)
		・耕地面積、田3,414,000ha、畑2,719,000ha、計6,136,000ha		・田67,600ha、畑128,200ha、計195,800ha
	1962(昭和37年)			・徳之島農地開発事業着工(～'68) ・国営国分海岸保全事業着工(～'74)※
	1963(昭和38年)	・団体営圃場整備事業の創設		・東串良用水改良事業着工 ・木原農地開発事業着工(～'66)
	1964(昭和39年)	・東京オリンピック ・八郎潟大潟村誕生 ・改正河川法公布		・圃場整備永吉原地区・野神地区着工(県下第1号、～'70)
	1965(昭和40年)			・北伊佐用水改良事業着工 ・宮内原用水改良事業着工 ・大霧農地開発事業着工(～'68)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
	1966(昭和41年)	・土地改良長期計画(1次)		<ul style="list-style-type: none"> ・国営屋久島農地開発事業着工(～'58)※ ・国営野井倉農地開発事業着工(～'62)※
	1967(昭和42年)	・公害対策基本法公布		<ul style="list-style-type: none"> ・国営出水平野農業水利事業着工(～'77)※ ・高隈ダム完成※ ・笠之原用水改良事業着工(～'80)
	1968(昭和43年)			<ul style="list-style-type: none"> ・国分用水改良事業着工 ・笠野原用水改良事業着工 ・福元農地開発事業着工(～'73)
	1969(昭和44年)	<ul style="list-style-type: none"> ・米の生産制限始まる(開田抑制措置) ・農業振興地域の整備に関する法律公布 ・農道舗装事業の創設 		<ul style="list-style-type: none"> ・永吉用水改良事業着工(～'79) ・永吉畑地帯総合事業着工(～'79) ・安木屋場農地開発事業着工(～'75) ・永吉防災ダム事業着工(～'79)
	1970(昭和45年)			<ul style="list-style-type: none"> ・国営南薩農業水利事業着工(～'84)※ ・出水平野用水改良事業着工(～80) ・大川畑地帯総合事業着工(～'80) ・市来防災ダム事業着工(～'81) ・広域農道中種子地区・牧園地区着工(県下第1号、～'74)
	1971(昭和46年)	<ul style="list-style-type: none"> ・政府米の買入制限導入 ・沖縄返還 ・環境庁発足 		<ul style="list-style-type: none"> ・出水平野畑地帯総合事業着工(～'82) ・御手洗防災ダム事業着工(～'82)
	1972(昭和47年)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良法改正 ・農村基盤総合整備パイロット事業の創設 		<ul style="list-style-type: none"> ・南薩畑地帯総合事業着工 ・指宿畑地帯総合事業着工 ・国営大浦(1工区・2工区)干拓事業着工(～'67)※
	1973(昭和48年)	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次石油ショック ・土地改良長期計画(2次) 		<ul style="list-style-type: none"> ・高川ダム完成※ ・和畑地帯総合事業着工
	1974(昭和49年)	<ul style="list-style-type: none"> ・国土利用長期計画法公布 ・国土庁発足 		<ul style="list-style-type: none"> ・国営大浦海岸保全事業着港(～'84)※ ・笠利畑地帯総合事業着工(～'81) ・国頭畑地帯総合事業着工(～'81) ・十三塚原畑地帯総合事業着工

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
				・喜界東部畑地帯総合事業着工
	1975(昭和50年)			・吾平東用水改良事業着工(～'80) ・神峰畑地帯総合事業着工(～'88) ・津代農地開発事業着工(～'83)
	1976(昭和51年)	・土地改良法改正		・第二喜界東部畑地帯総合事業着工(～'85)
	1977(昭和52年)		・台風9号、沖永良部島を直撃、全半壊2266戸	・屋原畑地帯総合事業着工(～'82) ・第二笠利畑地帯総合事業着工(～'85)
	1978(昭和53年)	・農林省、農林水産省に省名変更		
	1979(昭和54年)	・第二次石油ショック ・国営農地防災排水事業の創設		・第三笠利畑地帯総合事業着工(～'85) ・嘉純畑地帯総合事業着工(～'86) ・鷹巣畑地帯総合事業着工 ・西原畑地帯総合事業着工 ・西京畑地帯総合事業着工 ・伊仙中部畑地帯総合事業着工 ・井之川畑地帯総合事業着工
	1980(昭和55年)			・天城畑地帯総合事業着工(～'87) ・喜界中部畑地帯総合事業着工 ・川浦畑地帯総合事業着工 ・花徳畑地帯総合事業着工 ・北方農地開発事業着工
	1981(昭和56年)	・食糧管理法の改正		・住吉畑地帯総合事業着工(～'88) ・竹子原畑地帯総合事業着工) ・第二喜界中部畑地帯総合事業着工 ・喜界南部畑地帯総合事業着工 ・天城南部畑地帯総合事業着工 ・知名東部畑地帯総合事業着工 ・古里畑地帯総合事業着工
	1982(昭和57年)			・栗野畑地帯総合事業着工 ・第二喜界南部畑地帯総合事業着工

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
				<ul style="list-style-type: none"> ・第二天城南畑地帯総合事業着工 ・第二知名南部畑地帯総合事業着工 ・筒岩畑地帯総合事業着工
	1983(昭和58年)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良長期計画(3次) ・日本海中部地震 		<ul style="list-style-type: none"> ・第四笠利畑地帯総合事業着工 ・山畑地帯総合事業着工 ・伊仙東部畑地帯総合事業着工 ・第三知名東部畑地帯総合事業着工
	1984(昭和59年)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域の整備に関する法律と土地改良法の改正 ・118品目の関税引き下げなど対外経済対策を決定 		<ul style="list-style-type: none"> ・国営曾於東部農業水利事業着工(～'06)※ ・国営出水海岸保全事業着工(～'99)※ ・川内右岸用水改良事業着工 ・嶽用水改良事業着工 ・志戸桶畑地帯総合事業着工 ・天城北部畑地帯総合事業着工 ・仁嶺畑地帯総合事業着工 ・真正畑地帯総合事業着工 ・塩屋農地開発事業着工
	1985(昭和60年)			<ul style="list-style-type: none"> ・国営徳之島農地開発事業着工※ ・曾於東部畑地帯総合事業着工 ・母間畑地帯総合事業着工 ・第二天城北部畑地帯総合事業着工 ・知名西部畑地帯総合事業着工
	1986(昭和61年)	<ul style="list-style-type: none"> ・21世紀へ向けての農政の基本方向 		<ul style="list-style-type: none"> ・国営肝属南部農地開発事業着工(～'02)※ ・松元用水改良事業着工 ・笠利東部用水改良事業着工 ・曾於東部二期畑地帯総合事業着工 ・島中畑地帯総合事業着工 ・第二仁嶺畑地帯総合事業着工 ・第四知名東部畑地帯総合事業着工 ・伊唐島農地開発事業着工

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
	1987(昭和62年)	<ul style="list-style-type: none"> 水田農業確立対策決定 		<ul style="list-style-type: none"> 金峰用水改良事業着工 屋久島南部用水改良事業着工 笠野原施設整備事業着工(～'91) 岩岡南部畑地帯総合事業着工 第三天城北部畑地帯総合事業着工 第二知名西部畑地帯総合事業着工 立花畑地帯総合事業着工 高橋農地開発事業着工
	1988(昭和63年)	<ul style="list-style-type: none"> 日米牛肉オレンジ問題、GATTでの紛争解決へ 青函トンネル、瀬戸大橋開通 		<ul style="list-style-type: none"> 仁嶺用水改良事業着工 昭和施設整備事業着工(～'91) 曾於東部三期畑地帯総合事業着工 松元畑地帯総合事業着工 武部畑地帯総合事業着工 屋久島南部畑地帯総合事業着工 湾頭原畑地帯総合事業着工 三崎畑地帯総合事業着工 第三仁嶺畑地帯総合事業着工 甫立原農地開発事業着工 一湊畑地帯総合事業着工
	1989(平成元年)			<ul style="list-style-type: none"> 国営曾於南部農業水利事業着工(～'08)※ 長久畑地帯総合事業着工 金峰畑地帯総合事業着工 第二母問畑地帯総合事業着工 那間畑地帯総合事業着工 小野津畑地帯総合事業着工
	1990(平成2年)			
	1991(平成3年)	<ul style="list-style-type: none"> 農業農村整備事業と事業名変わる 		
	1992(平成4年)			<ul style="list-style-type: none"> 国営喜界農業水利事業着工(～'03)※
	1993(平成5年)	<ul style="list-style-type: none"> 環境基本法案決定 	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島市を中心に集中豪雨 	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
平成時代		・北日本中心に大冷害、作況指数74、冷害対策として米の緊急輸入	・甲突川氾濫、5大石橋欠損	
	1994(平成6年)	・ウルグアイ・ラウンド農業合意関連対策大綱を決定		
	1995(平成7年)	・阪神・淡路大震災		
	1996(平成8年)			・国営曾於北部農業水利事業着工※
	1997(平成9年)	・環境影響評価法(環境アセス法)公布	・3.26 県北西部に地震、大きな被害発生	・国営徳之島用水農業水利事業着工※ ・国営肝属中部農業水利事業着工※ ・緑資源機構 大隅中央農用地等整備事業着工(～'04)※
	1998(平成10年)	・中央省庁等改革基本法成立		
	1999(平成11年)	・食料・農業・農村基本法成立		
	2000(平成12年)	・食料・農業・農村基本計画閣議決定		
	2001(平成13年)			
	2002(平成14年)			
	2003(平成15年)			
	2004(平成16年)	・中越地震		・国営伊江農業水利事業着工※
	2005(平成17年)			・輝北ダム完成※
		・耕地面積、2,556,000ha、畑2,136,000ha、計4,692,000ha		・田40,200ha、畑85,300ha、計125,500ha
	2006(平成18年)			
	2007(平成19年)	・中越沖地震		・国営沖永良部農業水利事業着工※ ・中岳ダム完成※
	2008(平成20年)	・岩手・宮城内陸地震		
	2009(平成21年)			・国営宮古伊良部農業水利事業着工※
	2010(平成22年)			
	2011(平成23年)	・東日本大震災 3.11 東北地方太平洋沖地震(死者・不明者18,617人(H24.11.14警察庁)、津波による農地の流失・冠水等被害推定面積23,600ha(H23.3.29農林水産省))		
2012(平成24年)				
2013(平成25年)				

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	鹿児島県の歴史	鹿児島県の水土整備の歴史
----	--------	-------	---------	--------------

<参考文献>

- *1 「疏水百選」(2006年)(全国土地改良事業団体連合会)
- *2 「日本水利施設進展の研究」(1958年)(牧 隆泰著、土木雑誌社)
- *3 「明治前日本土木史」(1956年)(日本学術振興会、日本学士院日本科学史刊行会)
- *4 「農業土木史」(1979年)((社)農業土木学会)
- *5 「明治以前日本土木史」(1936年)(土木学会編、岩波書店)

※ 「各地方農政局ホームページ」等より抜粋

なお、「水土整備の歴史」欄で無印の事業等は「鹿児島県の土地改良」(1968年)、「鹿児島島の土地改良(40年のあゆみ)」(1989年)より抜粋

また、鹿児島県の歴史は「鹿児島県の歴史」(1999年)(山川出版社)より抜粋